

② 地域防災の推進について
本村の集落は、そのほとんどが海岸線に面していることから、地震等発生時には迅速な対応がでざるよう各地域の事業所との一時避難所協定の締結や、本村を訪れる観光客等の避難が迅速かつ円滑に行えるよう取り組んでまいります。また、沖縄県、消防、自衛隊等関係機関と連携した防災訓練を実施し、災害時や非常時の即応力を高めてまいります。



合同防災訓練

③ 防犯・交通安全対策の推進について
本村では、観光客を狙った「車上ねらい」が多数発生しており、その対策として、これらの犯罪に対する知識や防犯に対する意識を高める働きかけを行うとともに、「車上ねらい」等多発地点への防犯カメラや防犯灯の設置を進めてまいります。

6 自治体運営

① 住民自治の推進について

① 自主的な地域づくりの推進について
地域づくりは、住民の自主的な取り組みが大切な事であり、各行政区懇談会での事業要望等を踏まえた地区事業計画書や集落別構想に基づき推進してまいります。

② 公民館・地域交流施設整備について
これまで、前兼久交流施設、名嘉真区多目的交流施設の整備を実施してきたところです。本年度は、平成27年度より積み立てました特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用し、富着区公民館の建築工事に取り組んでまいります。また、今後予定いたします仲泊区につきましても、区と事業内容の調整を図り、早めに国県事業のメニューを確定し、事業を推進してまいります。



名嘉真区多目的交流施設

② 行財政運営の充実について

① 行財政改革の充実について
高度化・多様化する村民ニーズに対応するため、職員の対応力が求められております。このようなことを踏まえて、村行政運営の任にあたる職員の資質の向上及び公務能率のアップと自己啓発の促進を図るために、職員研修の開催や派遣等を実施し人材育成に取り組んでまいります。

様々な施設の指定管理者制度の導入が進んでおり、導入可能な施設についても検討してまいります。

指定管理移行後の施設管理方法を検証し、施設の適正な運営に努めてまいります。

② 財政基盤の強化について

基地関連の財産運用収入が経常収入全体の3割を占めている状況となっており、歳出においては、扶助費や物件費、補助費等が増加傾向にあります。

事務事業の必要性、費用対効果等を検証しながら、補助事業等の活用により効率的な財政運営に取り組んでまいります。

ふるさと納税の奨励につきましては、インターネットを利用した取り組みの拡充により効果的な活用に努めてまいります。

③ 施設整備基金の活用について

大規模改修の目安である築後30年の施設改修が2030年代に集中する見込みとなっております。

更新の必要性や修繕・改修に

よる施設の延命化を図り、費用負担の平準化など計画的な資産更新予算計画を行うことが重要となっております。

公共施設整備基金は、効率的な行財政運営により着実に積立てられています。公共施設等総合管理計画と中長期財政計画を連動させ、計画的な基金の運用により公共施設等の整備・改修等を実施してまいります。

④ 納税意識の高揚を図るために

納税意識の高揚を図るためには、村民の皆様が税金の果たす役割と税の仕組みについて正しく理解することが大切であります。

本村では、村広報紙やホームページ等を活用し、税知識の普及と納税意識の高揚を引き続き推進していききたいと考えております。

次代を担う児童・生徒には、税の意義や役割を正しく理解し

てもらい、租税に対する理解が村民各層に広がっていくことを目的として関係機関と連携し、租税教育の充実を図ってまいります。

⑤ 在日米軍再編に伴う交付金について

再編交付金制度につきまして、時限立法であったことから第193回の今国会におきまして、制度延長に向けて法案が審議されております。

キャンプ・ハンセンにおきましては、引き続き陸上自衛隊が共同使用することから、再編に伴う交付金を継続して頂けるよう防衛省へ働きかけてまいります。

③ 広域行政の推進について

① 沖縄北部連携促進特別振興対策特定開発推進費の推進について
本年度の事業といたしまして

7 おわりに

は、村宮宇加地団地新築事業の実施設計等の他、喜瀬武原11号線道路整備事業化に向けて取り組んでまいります。

以上、私の村政運営に対する所信の一端を申し述べましたが、今後とも、職員と一丸となって、恩納村の発展に全力を傾注していく所存でございます。

村民並びに議員各位のご指導とご協力をお願い申し上げます。平成29年度の施政方針いたします。

